

2 時間目の授業

- (1) 目標
段落内での論の展開や具体例の働きに注目しながら，筆者の主張を読み取ることができる。
- (2) 展開

過程	学習活動	○ 指導・支援 * 評価
導入	1 本時の目標を確認する。 2 本時の目標を意識しながら，第1段落から第4段落までを通読する。	○ 第1段落の論の展開と第2段落から第4段落における具体例の働きに注目して，筆者の主張をとらえる作業を行うことを伝える。 ○ 論の展開が分かりにくいところや理解が難しい表現等を確認しながら読むように指示する。
展開	3 第1段落を通読し，論の展開を整理する。 ・第1段落での筆者の主張をまとめる。 ・筆者の主張（例：自分の中にもう一人の自分がいるのが人間である）を支えている第1段落の筆者の論理を確認する。 ・「社会」「言語・言葉」「他人・相手」という表現の関係性について考える。 4 第2段落から第4段落を通読し，具体例の働きについて考える。 ・筆者の主張である「人間」に「負わされている」「重荷」について考える。 ・「動物」の具体例がどのような働きをしているか考える。	○ 第1段落の最後の一文に注目させ，指示語の内容を理解させる。 ○ 筆者の論理を支えている表現を押さえさせる。 →「社会」「言語・言葉」「他人・相手」 ○ 筆者の論理の流れをワークシートを利用して整理させる。 ○ 第1段落の「読みにくさ」について考えさせ，接続語の少なさに気付かせる。 * 第1段落における筆者の論理の流れを読み取っている。 【ワークシート，観察】 ○ 人間との対比として取り上げられている「動物」の具体例に注目するように伝える。 ○ 筆者の論理とどのように関係しているかに注目させる。 * 筆者の論理と具体例との関係を読み取っている。 【ワークシート，観察】
終末	5 本時の作業を振り返る。	○ 筆者の考え方や論理の展開について確認させる。 ○ 本時の気付き（分析・評価の材料）をまとめさせる。